

日系企業のアジア事業戦略・その課題と対応策 ——経営システム強化に向けて

主催：アジアシステム事業本部 2008年6月13日

野村総合研究所（NRI）は、「日系企業のアジア事業戦略・その課題と対応策——経営システム強化に向けて」と題するセミナーを開催し、さまざまな業種の約110社から、海外事業担当者を中心に120人の方々にご参加いただいた。

中国をはじめとするアジアの新興国は高い成長を続けており、多数の日系企業がアジア地域で事業を展開している。今後も成長を継続していくためには、アジア全体での事業ネットワークの再構築、現地経営システムの一層の強化などが必要となっている。NRIでは、このような課題認識をもとに、アジアでの事業展開が抱える課題を提起し、その解決策の一つとしてのソリューション事例を紹介した。当日は、NRIのアジアシステム事業本部長東山茂樹から、NRIのアジアでの事業展開を紹介した後、3つの講演を行った。

■2010年代のアジアと中国事業の環境変化（執行役員コンサルティング事業本部副本部長 此本臣吾）

2010年代前半には日中の経済規模は逆転し、2010年代を通して、中国経済は安定した高成長を続けると予想される。この年代は、沿岸都市部だけではなく、内陸部や農村地域での社会インフラ投資や所得向上に伴う消費拡大が中国経済の成長の牽引役になる一方、人件費の高騰や外資政策の見直し、経済ナショナリズムの台頭などリスクも増加する。

また、2010年代はベトナムの台頭、ASEAN（東南アジア諸国連合）をハブ（中継地）とした経済協力協定や自由貿易協定の発効、あるいはインド市場の拡大など、中国周辺のアジア地域の事業環境も大きく変化する。本講演では、中国を中心としたアジ

アの2010年代の発展を俯瞰し、中国については成長機会と事業リスクの概要についても報告した。

■日系企業のアジア進出動向と経営システム面の課題（事業戦略コンサルティング一部主任コンサルタント 山崎朋広）

日系企業にとってアジア地域は、生産拠点としてだけでなく、拡大する内需を背景とした市場としても、その位置づけが高まっている。急速に拡大する市場に合わせた事業拡大および競争力強化のためには、経営管理の仕組み、人事評価制度、情報システムなどの経営システムの強化が必要不可欠となる。本講演では、アジアにおける日系企業の事業展開の状況と経営システムに関する課題、およびその対応の方向性を報告した。

■経営システム強化に向けたソリューション事例

（NRI香港GSCM事業部副総経理 澤井啓義、アイビジョン上海副総経理 松下隆一〈NRIより出向〉）
本セッションでは、NRIグループが実際に手がけている事例を中心に、中国・アジア地域に進出している日系企業の情報システム活用による課題解決の方策について報告した。

セミナー参加者からは「中国・アジアでの事業展開について他社の悩みが理解できた」といったご意見を多数いただいた。NRIは、本セミナーを契機に日系企業のアジア事業展開に関するコンサルティングならびにソリューションサービスの展開を加速していく予定である。

本セミナーについてのお問い合わせは下記へ
事業戦略コンサルティング部 施 怡

電子メール y-shi@nri.co.jp